

# 産地の課題解消へ

イチゴのパック詰め作業を行う施設利用者

## 施設利用者とイチゴ収穫・調製

【三重・伊勢】JA伊勢くらしの活動推進課は12月、伊勢市社会福祉協議会が運営する「伊勢市生活サポートセンターあゆみ」の利用者の受け入れを始めた。中旬には市内にある、同課が管理するイチゴハウスなどで施設利用者2人がイチゴの収穫やパック詰めなどの農業体験を行った。

同課は、地域の社会福祉協議会などと連携し、施設利用者らの農業体験を受け入れることで、農福連携の取り組み

を進めている。同課が生産するイチゴのハウス内での作業に携わる農業体験と、管内農産物を使った加工品作りの二つの業務を、社会福祉協議会などに提供する。

同課の坂谷智紀課長は「農業体験を通して少しでも農業に興味を持ってもらい、就農につながるとよい」と話していた。同課では今後も、さまざまな活動を通して、施設利用者の就労支援に取り組んでいく。



農福連携

三重・JA伊勢